

科目	文化教養ゼミ I	担当	岸 貴介	履修学年	1年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

本学の教育理念である「他者を理解できる豊かで暖かい心」、「絶えざる自己変革」、「豊かな教養」、「国際性」を身につけることが、この文化教養ゼミの授業目標である。本講義では、いろいろな研究分野の教師から授業がある。そして、学生はそれを受け止め、教養を培い、自立的な思考力、判断力、行動力を身につけることができる。本講義は全体講義と個別授業が隔週毎に組まれている。個別では全体講義を受けての発展学習等を行う。どちらが欠けても十分ではないので、必ず両方出席すること。

**【履修注意】**

講義は週一コマ。必修科目であるので、必ず履修すること。自主的に学ぶという姿勢を堅持してもらいたい。

**【評価方法】**

授業への参加、レポート、試験などで評価する。

**【試験について】**

筆記試験、あるいは、レポートで評価する。

再試験対象者の条件： 2/3以上の出席条件を満たし、総合点が40以上60点未満であること。

**【予習・復習】**

学修時間は1単位45分が文部科学省指針です。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要です。

**【教科書】**

プリントを配布する。

**【参考書】**

特になし。

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	教養を学ぶ意義(安倍)	教養、医療人、未来への展望
2	発展学習等	復習、発展学習、応用課題
3	細井平洲(森川)	嚶鳴館遺稿、小語、米沢藩
4	発展学習等	復習、発展学習、応用課題
5	源氏物語(駒田)	光源氏、桐壺、宇治十帖
6	発展学習等	復習、発展学習、応用課題
7	情報倫理(岸)	倫理、心がけ、自律
8	発展学習等	復習、発展学習、応用課題
9	後日発表	後日発表
10	発展学習等	復習、発展学習、応用課題
11	医療社会学(比留間)	パターンリズム、当事者参加型リサーチ、ナラティブ
12	発展学習等	復習、発展学習、応用課題
13	記憶の心理学(牧野)	記憶の仕組み、記憶術、記憶障害
14	発展学習等	復習、発展学習、応用課題
15	言葉と文化(比留間・牧野・森川・岸)	方言、翻訳、芸能演目
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ